

第101回 仏教公開講座

生きるって ということ

真宗大谷派岐阜教区・岐阜別院

日 時	2012年11月20日(火) 午後6時30分～8時30分	
講 師	一楽 真 氏(大谷大学教授)	
講 題	『浄土を願って生きる』	
日 程	午後6時30分	真宗宗歌・正信偈(同朋奉讃式)
	6時45分	講 義
	8時15分	質問の時間
	8時30分	恩徳讃・閉会



講師紹介

一楽 真(いちらく まこと)

1957(昭和 32)年、石川県小松市生まれ。1980年、大谷大学文学部真宗学科卒業。1985年、大谷大学大学院博士後期課程満期退学(真宗学専攻)。

現在、大谷大学教授、真宗大谷派宗円寺住職。

著書 『この世を生きる念仏の教え』『親鸞聖人に学ぶ―真宗入門―』(東本願寺)、『大無量寿経講義―尊者阿難、座より起ち―』(文栄堂)、『ブツダと親鸞―教えに生きる―』(共著・東本願寺)、『蓮如上人―親鸞聖人の教えに生きた人―』(共著・東本願寺)、『この世を生きる念仏の教え』(東本願寺)、『親鸞の教化―和語聖教の世界―』(筑摩書房)、など。

先生からのメッセージ

親鸞聖人は、浄土が生きていく拠り所であることを「浄土真宗」という言葉で示されました。いつの時代でも、どのような状況の中でも、浄土が大事であることを掲げられたのです。ところが最近、浄土と聞くと、死後の世界のように思ったり、自分の人生とは無関係のように考える人が多いのではないのでしょうか。親鸞聖人が確かめられた浄土について、と一緒に尋ねたいと思います。

いつでも・どこからでも聞ける「テレホン法話」お電話ください。Tel.058-265-0033